



# みなみ 南たかふみ

大阪市議員（淀川区選出） 自由民主党 所属

令和7年冬 **市政報告 第4号**

未来への役所改革!

## 住み続けたい街へ!



### 淀川区の公園を 充実させるべき

# 3つの理由

令和6年11月の決算特別委員会において、市民の幸福度や満足度の観点から『住み続けたい街づくり』について市長に質疑を行いました。多岐にわたる内容のなかで今回は淀川区の公園の現状に焦点を当てて皆さまにご報告いたします。

淀川区をより魅力的な街にするには、緑豊かで落ち着いた街並みと、市民が健やかに暮らせる環境の整備が欠かせません。その一環として、公園整備を進めることで、緑を増やし、子どもたちの成長を支え、すべての世代が住み続けたい街づくりをめざしていきます。



### Reason 1 自然をもっと身近に感じられる環境を

国の調査※によると、淀川区で「身近に自然を感じる」と答えた方の割合は、偏差値 20 と全国でも最低水準となっています。また、一人当たりの公園面積も 2.0 m<sup>2</sup> と国基準の 5.0 m<sup>2</sup> を大きく下回っており、緑豊かな環境が不足している状況です。緑地をより魅力的で身近な存在にする取り組みが必要です。

※令和6年度版 Well-Being 全国調査

### Reason 2 子育て世代に選ばれる街へ

近隣の吹田市や豊中市では子育て施策を拡充しており、淀川区から子育て世帯の転出超過が起こっています。さらに、吹田市と豊中市の市民一人当たりの公園面積は淀川区の3倍以上であり、魅力的な公園が子育て世帯に選ばれる要因の一つとなっています。淀川区でも、身近に魅力的な公園を整備することで、子どもたちの成長を支え、住み続けたいと感じられる子育て環境を整えることが重要です。



### Reason 3 子どもの健やかな成長をサポート

教育委員会の調査によると、大阪市の小中学生の体力は長年全国平均を下回っており、特に『反復横跳び』や『立ち幅跳び』など、基礎的な運動能力で課題が顕著です。身近な公園にボール遊びができるエリアを設置するなど、日常的に体を動かせる環境を整備することで、体力向上が期待されます。

### 淀川区から他市区町村への 10歳未満の

### 転出超過数

※令和5年度 淀川区  
の大阪府内転出先別  
転出超過の状況  
(日本人・0～9歳)

### 大阪府内・年間ランキング\*

ランク	転出先	転出超過数
1	豊中市	56人
2	吹田市	35人
3	茨木市	16人



裏面もご覧ください

# 公園整備で魅力的な淀川区をつくる

## Point 1 自然をもっと身近に感じられる環境をつくる

- 公園用地の整備を早急に進めることが重要です。中長期的には、公園の数を増やし、緑地の拡充を図るべき。
- 管理が行き届いていない公園では、草木が伸び放題で利用が制限されています。必要な予算を確保し、適切な管理と早期改善が必要です。
- 万博に向けて確保した樹形整備予算を万博後も継続し、コスト重視の剪定を見直しながら、樹木の丁寧な維持管理を進めます。



## Point 2 子育て世代に選ばれる街をめざす

- 老朽化が目立つ遊具の更新を進め、地域や子どもたちの要望に応えた遊具整備を推進します。
- 市保有地や民有地に設置されている児童遊園の都市公園化を積極的に検討し、行政が責任を持って維持管理を行うべき。
- 9月に開業した JR 大阪駅北側の「グラングリーン大阪」がファミリー層や若者に好評です。その成功事例を淀川区の開発にも活かすべき。

## Point 3 子どもの健やかな成長を応援

- 子どもの体力向上をめざし、運動意欲を高める魅力的な遊具への更新を進めます。
- 小中学生の運動能力向上に寄与するため、俊敏性や跳躍力を養える競技人口の多いバスケットボールの屋外ゴールを整備します。
- 淀川河川敷を活用してスポーツ設備を設置するなど、運動や交流を楽しめる環境の整備を検討します。



その他、  
住み続けたい街について  
多数の提言をしています

- 交通事故を防ぐ！十三での死亡事故を受けての適正な特殊車両通行の促進
- 静かで快適な暮らしを守る、地域の騒音対策
- 大きな犯罪を防ぐ第一歩！犯罪件数最多の自転車盗難対策
- 淀川区の治安向上と美しい街並みをめざして、街の落書き消去
- 安全な歩行空間を確保、塚本駅前の放置自転車対策
- 今こそ未来への積極的な投資を！公金の過剰な蓄積や物価高を踏まえた財政運営



みなみ 大阪市議員（淀川区選出） 自由民主党 所属  
**南 たかふみ**

1986年7月28日  
富山県氷見市で生誕  
O型

HPやSNSで  
日々の活動を  
発信中!

3歳で大病を患い命の危機を経験。手術により一命を取り留め、この経験から「毎日を悔いなく全力で生きる」をモットーとする。大阪大学基礎工学部を卒業後、同大学院理学研究科を修了。関西私鉄に入社し、経営企画業務に従事する中で中小企業診断士試験に合格し、経営コンサルティングスキルを習得。大阪市に転職後、水道局の経営企画や区役所事務で業務改革を実現し、局長表彰を受賞し、人事評価で首席を獲得する。政策立案では、市長表彰、近畿経済産業局長賞を受賞し、これらの経験を基に、政界からさらに大阪市を改革する決意を固める。

電話 06-6829-6850 メール minami.yodogawa@gmail.com



公式ホームページ  
minami-takafumi.info



X (旧ツイッター)  
@takafumi\_minami



フェイスブック  
takafumi.minami



インスタグラム  
minami.taka